

市内巡回バス「くるりんばす」部分修正素案に関する意見及びご回答について

令和2年11月19日に開催いたしました、令和2年度第3回日進市地域公共交通会議にてお配りした市内巡回バス「くるりんばす」部分改正素案に関する意見書について、ご提出いただきましたご意見と、ご意見に対するご回答となります。

意見等	ご回答
<p>いつも地域交通の在り方について考えていただきありがとうございます。</p> <p>くるりんばすの定義、基本方針に沿って運行されることが一番望ましいと考えます。</p> <p>また、市民の方にも理解を求める活動をしていくことも必要ではないかと思います。</p> <p>また、「安全・安心・優しい」は絶対に担保した運行であることを望みます。</p> <p>それ以外については、地域事情があるので、利用者さんにアンケート若しくは聞き込みをしてもらい現時点の最善路線の構築を考えていただけたらと思います。</p> <p>また、少し気になることですが、全便を日進市役所発着とした場合の周辺の交通渋滞はどうでしょうか？</p>	<p>部分改正の素案作成にあたっては、くるりんばすの基本方針等を確認しつつ検討作業を進めて参りました。今後とも、市民の皆様に安全・安心・優しい公共交通として運行に努めて参りたいと考えております。</p> <p>全便を日進市役所発着とした場合における周辺の交通渋滞については、現時点において運行にあたって大きな支障はないものと考えております。</p>
<p>運行事業者の立場から、再編を行う上で、できるだけ住民の意見を反映するためにはどうすれば良いのか考えた時、1便減便したとしても全体の要望が叶うのであれば、決して利便性は下がらないのではと思います。</p> <p>乗り合いバス路線でも遅延対策等で一部のダイヤを削減して集約することは当たり前の手法であります。十分に利用状況を把握し影響が最小限に留まるよう配慮しています。減便による時間を原資に、運転時分の再配分を行うことで、ダイヤの遅れによるお客様の不満が解消され、乗務員の休憩時間に余裕が確保されれば法に抵触することのない安全運航が確保できます。乗務員への精神的な負担を減らすことは、安全確保には欠くことのできない要素です。経費の増加も最小限に抑えることができると思われます。一部変更案と減便案を改めて、検討することは必要だと考えます。</p>	<p>一部変更案と減便案の検討については、改めて実施したいと考えております。</p> <p>部分改正においてどこまで対応するかについては、現運行体制の構築経緯、行政として維持すべきサービス水準とのバランスなども十分踏まえて慎重に検討するべきものと考えております。</p>
<p>バス停は風当たりの強い所等は雨除けがあると良いね。</p> <p>この程、部分改正の委員として参加して、様々な問題に直面し、皆さんと知恵を出し合ってきました。</p> <p>沢山の入りに利用して頂きたいです。</p>	<p>バス停付近の環境整備等につきましては、引き続き努めて参りたいと考えております。</p> <p>よりよいくるりんばすの運行等について、今後ともご意見を賜り、たくさんの方にご利用いただけるようともに検討して参りたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>

意見等	ご回答
1、現在、アンケート済みである利用者の実態調査を確実にできないか。機器をバスに設置して利用の乗降場所、時間等を確実に把握する。機器が経費等で困難なら、調査員が乗降して把握する。全ての路線で、特定の1日を調査したらどうか。その結果を踏まえたコース、時間設定をすれば利用者のニーズに合った効率的、経済的な運営ができるのではないか。	利用者の実態調査や乗降調査等については、全線改編に向けた調査検討の中で、何らかの形で実施して参りたいと考えております。
2、現在の形の公共的なバス運営が、人口減少等で困難になり、利用者ニーズに合わなくなる事が想定される。抜本的な改革が必要と考える。市民の個別要求に添えるには、タクシー化し、定額の利用料金にして、損失カバー分をタクシー会社に市が支払う制度にしたらどうか。現行でも多額の運営経費を市が負担している。タクシー化した場合の補助金負担との比較を試算してみてもどうか。	今後将来に向けての移動政策展開の方向性のひとつとして参考とさせていただきます。
3、保育園やデイサービスの送迎バスの制度にヒントがないか。運営費の中で効率的にできている。公共バスに適用できないか。例えば利用者が多い、市役所、図書館、運動文化施設等に絞って無料送迎する	今後将来に向けての移動政策展開の方向性のひとつとして参考とさせていただきます。
4、地域性はあるが、全国どこでも同様の悩みであり、国や県に抜本的な施策を働きかける。	今後とも、国や県とも連携し、広域移動も含めてよりよい公共交通の展開について検討して参りたいと考えております。
5、工夫し、成功している地域を視察する。そのための情報を収集したらどうか。	成功している地域の実例を含めて情報を収集し、日進市の地域特性を踏まえて実現可能性等について研究して参りたいと考えております。
6、利用者を増やせばすべてが解決すると考える。無料の特典が大事だ。自動車運転免許返納者への特典制度も、6か月分程度ではなく、思い切って生涯無料でも良い。	今後将来に向けての移動政策展開の方向性のひとつとして参考とさせていただきます。
7、「くるりんばす」の認知度アップのための無料の試乗体験を実施する。	イベントの実施機会などをとらえて、利用促進事業につきましては、今後とも検討して参りたいと考えております。
1、岩崎線一部乗り入れ、赤池線。米野木線を市役所発着とし、バス停の増設等々、大変お骨折りをいただきありがとうございました。 利用者の1人としても大変喜んでおります。 令和5年の全線改編に向けて、確実に1歩を踏み出した感があります。専門部会を設けていただき4度の部会で話し合えたことは大変意義があったと改めて思っています。 全線改編まで、他の路線についても考えていかななくてはならない点がいくつかあると思います。今後とも利用者の声を聞きながら進めて行っていただきたいと思っております。それが、利用者の増加に繋がると思っています。	部分改正については、これまでいただきました市民のご意見、ご要望を踏まえつつ、検討過程におきましても、皆様のさまざまな意見等をお聞きしながら進めて参りました。このような議論の場ができたことは、今後に向けた大きな成果であるものと考えており、今後とも市民の皆様や利用者の声を聞きながら、よりよい公共交通のあり方についてともに考えて参りたいと考えております。
2、ダイヤ改正により、出発時刻が早まるケースが多いので、乗り遅れる利用者が出ないよう周知をしっかりとお願いします。高齢者の方にもわかり易く大きな字で表示をお願いします。	ご指摘の件については、事前周知をしっかりと図るとともに、ダイヤ表等については、可能な限り見やすくするなど工夫を凝らして参りたいと考えております。
3、市役所での案内所の係の方におきましても、利用者には充分説明できるようご指導下さい。(前回はかなり混合しており、お困りでした。)	くるりんばすの案内業務を委託しておりますシルバー人材センターを通じて、路線案内等が適切に実施できるよう指導して参ります。